

# 安全衛生推進委員会

## 「ヒヤリ・ハット」事例



### 外注作業その他

回答期限2024年9月30日

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善事項
1	砕石置場	ホイローダーで砕石を掻き上げ移動中	ホイローダー積込んだ砕石を移動させようとバックした時、引き取りダンプと接触しそうになった。	作業に熱中しすぎて後方確認未了。バックの際は、常に後方確認を行う。
2	千葉県野田市一般道	車を運転中	反対車線の車が、中央線を越えて来た為ぶつかりそうになった。	早めに分かる時は、スピードを落とせるだけ落とす。
3	千葉県市川市一般道	自家用車を運転中	反対側の車線が渋滞しており、渋滞の間から学生と思われる自転車が飛び出してきた。	かもしれない運転をする。
4	高速道路	自家用車で帰宅途中(左車線で時速40km)	追い越し車線より前車の前に強引にミニバンが割込みした為、前車は一瞬減速し左に寄り追突を回避する。その後、追い越し車線へ移動し割込んできた車の前に出るというあおり運転を目撃した。	十分な車間距離をとる事を前提に、前方だけでなく適度に目配りをして周辺の状況を把握し危険予知をしつつその時の状況に相応した運転に務める。
5	高速道路から一般道への合流	自家用車で出勤時	前車が上手に合流できずに停車した。	だろうではなく、常にかもしれない運転を心がける。
6	交差点	工場に行く途中	左側2車線の左折専用レーンで右側のトラックが左折しながら左側のレーンに入ってきたので急ブレーキを踏み回避した。	常に周りの状況変化に気を付けて運転する。
7	作業場	重機で掘削	重機で掘削時、オペレーターの操作ミスで重機のバケットの開口部にいた作業員と接触しそうになった。	①声掛け・合図・誘導の徹底。普段から操作に慣れている人が重機操作する。②どこに危険が潜んでいるか判らないので必ず目視確認する。
8	林道	走行中	対向車が走行してきて衝突しそうになった。	かもしれない運転を心掛け安全運転する。
9	高速道路	走行中	片側2車線の高速道路を走行中、左車線から右車線へ車線変更しようとする前方車両が右車線の車両と接触しそうになった。	三点確認・目視の徹底。車線変更時は急な動作はせず落ち着いて行う。
10	一般道	運転中	横断歩道以外での飛び出し	歩行者がいる時はどんな時も必ず徐行する。
11	解体現場	家屋解体中	重機と作業員が接触しそうになった。	①合図をしてから作業する。②重機の作業範囲内に立ち入らない。
12	プラットホーム	不燃ゴミ掻き上げ時	床に零れ落ちた油やオイル等でスリップした。	①タイヤ溝なしのため交換。②急加速、急発進をしない。③毎日の床清掃。
13	粗大コンベア前	床のコンクリートに降ろされた荷物を確認コンベア投入中	安全靴に釘の様な物が刺さる。	足元をよく確認しながら作業する。
14	粗大コンベア前	カーペット切断作業中	作業後、安全靴、ズボンが切れている事に気付く。	カッターの刃の出しすぎに注意。ゆっくり動かす。
15	台貫の上	出勤時	雪の日に歩いていたら滑って転びそうになった。	濡れている時は歩かない。
16	プラント内	フォークリフトでトラックに搬出物積込中	積み込みの荷物がトラックから滑り落ちた。	滑り落ちない容器に変更。
17	プラットホーム	パイプ椅子解体時	固定していたボールが外れた。	万力等で固定。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善事項
18	リサイクルセンター	手選別作業中	機械回転中に挟まった電気コードを取り除こうとした時、コードと一緒に手が引き込まれそうになった。	焦ったり無理をしない。
19	破砕機内	詰まった異物を取り除こうとしていた時	ガラス片・金属片で手袋が破れていた。	適切な保護具の選定と確実な着用。
20	不燃粗大ホッパー前	荷下ろし中	プラスチックケースの破片が飛んできた。	周囲の状況を確認してから行う。
21	施設場内	重機タイヤショベル操作時	碎石製品ヤードにて碎石移動時に上部コンベアベルト架台へ接触。	重機操作時は細心の注意を払い、安全確認の徹底。また、周囲の状況を把握し再確認に努める。
22	本社工場	処理施設へ発泡スチロールを投入した時	発泡スチロール減容固定化機で処理を進めていたところ、投入口付近の破砕機で発泡スチロールが詰まった。棒で直していたら機械に巻き込まれそうになった。	処理設備の停止を確認してから作業を行う。
23	千葉県国道	乗用車の運転中	走行中に左前方の歩道にいた小動物が車道に侵入。当方、急ブレーキをかけた結果、後方の車両数台が急ブレーキをかけることとなった。車両の接触はナシ。	前方確認を確実にを行い、適時減速・停止ができるよう走行する。



## 収集運搬

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善事項
1	千葉県国道交差点	交差点左折時	歩行者が横断歩道を渡り切ったので左折のため発進すると自転車突然猛スピードで通過し、衝突しそうになった。	歩行者が渡り切っても直ぐに発進せず、再度左右確認し、横断する人がいないことを確認する。
2	一般道	収集したゴミを運搬中	真ん中車線を走行中に右車線から真ん中車線へウインカーを出さずにギリギリで車線変更された。	ミラーや目視確認を更に良くして防ぐ。
3	国道バイパス交差点	停車中	右折時2台目にて停車中。信号機が変則の交差点。1台目の車が一般的な信号の交差点と勘違いし発進。対向車が急ハンドルし、停車中の自転車と衝突しそうになった。	思い込みで運転をしない。交差点走行時の速度に注意する。
4	千葉県野田市一般道	収集作業後、次の集積所へ移動中	コンビニから右折で出ようと左側を確認しながら出てきた車と衝突しそうになった。	相手の車の行動が予測できそうなきは、自車は停止する。
5	千葉県野田市県道	走行中	優先道路を走行中、細い脇道から軽自動車停止線をはみ出し優先道路に出てきた。	脇道は、車が出てくるかもと予測し、停止できるようにする。
6	千葉県野田市一般道	収集場所へバックしているとき	道路幅が狭い集積場所へバックしていると、その道路を横切られ困ることがある。	よく確認しながらバックし作業員には誘導の依頼をする。
7	マンホールの上	回送走行中	雨天時、マンホールの上を走行した際、ハンドルが少しとられた。	雨天時、マンホールや道路は滑りやすくなっている。通常より走行やスピードの出しすぎに注意する。
8	寮	ペットボトル回収時	蓋が閉まったペットボトルを入れて回転板を回したら蓋が飛んできた。蓋が脛と眉間の間にあたり痛かった。	なるべく叩をしめて処理したほうがいい。
9	千葉縣市川市一般道	ゴミ回収後	人は、作業車後方アオリにより見えなくなる。対向車からは死角となる。	車の陰から出る時は、「前後左右確認ヨシ！」と前後左右確認と指差し呼称を行うとこととした。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善事項
10	千葉県市川市一般道	運転中	委託回収中自転車が無理に通り返けるので危険だった。	自転車マナーを守る。
11	千葉県市川市一般道	一般廃棄物収集時	道路左側に車両を寄せて止め、左側ステーションのゴミを回収後、右側ステーションのゴミを回収する為に自車の後方から横断しようとした際、対向車両と接触しそうになった。相手方の急ブレーキにより回避した。	生活道路での収集作業を行う際、周囲の状況を把握する。特に車両前後から移動する際は、安全確認を怠らない。
12	信号機のある十字交差点	赤信号から青信号に切替わり発進しようとした時	自転車が信号無視をし、自車の右後方から左方に向け自車の直前を横断してきた。	青信号での発進時でも左右後方の確認をする。
13	千葉県市川市旧道	回送中	渋滞中の反対車線から何も見ずに、イヤホンをした運転者の自転車が走行中の車の前に飛び出してきた。	ルールの強化
14	一般道	荷下ろし後回送中(大型)	上り坂で右のカーブを走行中に対向車が中央線をはみ出して下ってきた。左にスペースがあり左にハンドルを切り回避した。	山道等狭い道では、できるだけスピードを落とし走行する。過去にもスマホのながら運転をしている車が中央線をはみ出してきたことがあった。いろいろなドライバーがいることを常に頭に入れて業務を行う。
15	千葉県市川市一般道	収集場所へ移動中	自転車が曲がりかつ斜めに渡って逆走してきた。	収集場所が生活道路のため運転手は速度を出さない様に心掛けている。助手席は急な自転車の動きは分からないが、見えづらい場所でも、しっかり確認をするよう心掛けている。
16	両側1車線の一般道	運転中	緩い左カーブで対向車がほぼ逆走しながら曲がってきた。	かもしれない運転をする。
17	一時停止のある十字路	走行中	一時停止守っていない。	一時停止はきちんと守る。
18	線路沿いの細い道路	収集運搬走行中	傘を差した自転車が前を見ずに停車している車にぶつかった。	自転車が前を見ていないのに気が付いた時点でホーンを鳴らすか声掛けし、ぶつかる前に注意を促す。
19	事業所付近	回送中	対向車線側の車列の間に建物から出る車両が自車走行車線に無理やり合流してきた。	不自然に空いた車間の側方を通る時、予測・構え・ブレーキ・速度抑制をしていつでも停止できるようにする。
20	千葉県市川市一般道	瓶缶収集の移動中	路地から片側2車線へ右折する際、右側の見通しが悪く一時停止した。確認しない自転車が正面から進入。自転車が車体正面に衝突する前に停止し、衝突事故には繋がらなかった。	見通しの悪い道路・十字路・T字路は、常に一時停止を心掛けている。だがタイミングが悪いと事故へ繋がる可能性が高い。より慎重に且つ注意深く左右の安全確認を実施したい。
21	一般道	収集作業中	回転板を回していたら中身が飛び出した。危うく車両等を汚しそうになった。	詰め込みすぎて回さない。周囲を確認する。必要なら停止又は蓋をする。
22	ステーション横	ゴミ収集時	ステーション横に車両を止めドアを開けたら、後方から自転車がきて接触しそうになった。	ドアの開閉時、後方確認を必ず行う。
23	一般道	走行中	信号が青に変わり発進すると、信号無視の車両が前の車両横に衝突した。	かもしれない運転をする。
24	コンテナ	廃棄物置き場走行中	左右脇のテント倉庫からフォークリフトがバックで急に出てきた。	減速走行し一時停止する。左右確認する。
25	積込場所	積込作業中	トラックにシートをかけている時、ゴムが足に引っ掛かり転倒しそうになった。	足元をしっかりと確認する。
26	事業所	フォークリフト運転時	積み荷が片寄った。	フォークリフトで運んでいる時、グレーチング・マンホール等のデコボコを通過する際減速する。片寄っていたらさしなおす。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善事項
27	車両の荷台	積込作業中	足元が濡れていて滑った。	作業靴を新しいものに交換する。
28	積込場所	ペールの積込作業時	リアゲートに積んだ50ℓのペール(2段)がゲートを上げ始めた際にバランスを崩し倒れてしまった。幸いトラックの横を通過する車両がなく事故につながらなかった。	ペールをゲートに載せる際、バランスが悪いときは、ペールを組み直す等、転倒を防止する。
29	バイオエナジー内	バイオエナジーに設置してあるコンテナの交換作業中	設置してあるコンテナを出そうとトラックを前進させようとした際、バイオエナジーへ降ろしに来たトラックが目の前をギリギリ横切った。	コンテナを出す際、バックする際、トラックが来るか目視で確認する。トラックが来るかもしれないと言う事を前提に作業する。
30	工場内	車両で走行中	工場建屋から出るときに、走行中の車両と接触しそうになった。	①一旦停止をきちんとして左右の確認をする。②カーブミラーを設置する。
31	駅前の交差点	左折しようとしたところ	横断歩道を走って渡ろうとしている人と接触しそうになった	人通りの多い交差点は、特に安全確認に注意して走行する
32	担当作業場から収集物廃棄場所への運搬経路階段	対象物運搬中	収集物運搬用籠を抱えて階段を昇る際、籠の先端が進行方向の上段にぶつかり後方へ落ちそうになった。	常に慎重に確認しながら作業。
33	総合病院敷地内	軽トラで収集しようとした時	歩行者がいた為、助手席側を注意して車両をバックさせていたところ、運転席側が注意不足になり駐車してあるトラックに接触しそうになった。	一つのことに気を取られずに周りすべてを確認・目視をして車両を動かす。
34	清掃センター	古紙運搬中	トラックのミラーと電柱が接触。	周囲をよく確認し、車の状況をよく把握する。



## 中間処理・最終処分

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善事項
1	チップ工場内	木材を破砕機投入中	重機を旋回中に手元の作業員が旋回内侵入	重機旋回時は左右確認し重機作業半径内立入禁止措置を講じる。立入禁止区画の設置不可能時、オペレーターと作業員間で合図・声掛けをしっかりと確認する。
2	チップ工場内	重機で木材を小害時	木片が飛散し搬入車に接触しそうになった。	搬入車を優先で作業し、搬入車がいる時は作業を一旦停止。飛散しないよう無理な作業はしない。
3	場内	バックホウの洗車時	洗車を終え片付けをしようとした際、降りる時にキャタピラで足を滑らせ転倒しそうになった。	普段の昇降時は問題ないが、洗車や雨で濡れている際は普段よりも三点支持を意識した昇降が必要。また、業務終了間際であったため気のゆるみもあった。最後まで気を抜かない作業が必要。
4	プラント内	ストーカー用シリンダー(重量物)を2名で運搬中	手が滑り足に落としそうになった。	重量物を取り扱う際には、確実に誇示できるような道具を選択し、使用する。
5	破砕機後部にある作業床	点検を終えて昇降階段を降りる際	足を滑らせて転落、転倒してしまい近くにある柱固定用のアンカーボルトに左太ももを刺してしまった(数針縫う裂傷)	昇降階段のステップが金属製なので(1)階段踏面に滑り止めを設置 (2)新たに手すりを設けた (3)注意喚起用の看板を設置 (4)アンカーボルトに保護キャップを取り付け ※改善済み

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
6	工場機械室内	荷揚げ作業中	吊り揚げた荷物の真下に別の作業員が入り込んできた。	荷揚げ作業中に他者が立ち入らない様に、作業範囲をカラーコーン等で明確にする。
7	機械のモーター架台(地上3m)で作業中	ケースカバーを復旧中	架台の縁に立って、ケースカバーを支えていたら、バランスを崩して落下するところだった。	安全帯を掛ける。安定した足場を確保した上で、作業に取り掛かる。カバーが重量があるので、複数人で作業に当たる。
8	屋外設置コンベヤ	駆動チェーン交換作業時	作業に没頭してしまい、作業終了後軽度の熱中症・脱水症状になった。	作業時に他の届くところに飲み物を置き、直ぐに水分補給が出来る状態にする。送風機を設置して、涼しい環境を作る。
9	マシンハッチ下	鋼材の荷揚げ作業中	吊り荷の下を人が通った。	マシンハッチ周辺にカラーコーン、トラバーを設置してハッチの下に入ってこれないようにする。
10	現場操作盤	結線作業を行おうとしている時	主幹ブレーカーを落としていたが、回路内に残電圧が流れていて、端子に触れた際に感電した。	電気作業をするときは、検電器で確認してから作業に入る。皮手袋ではなく、ゴム手袋を着用して作業する。
11	場内作業場	歩行移動しようとしたとき	重機が接近しており、接触の恐れがあった。	作業場内では、移動する前に左右確認、指差呼称を確実に言う。
12	中間処理場	フォークリフトで木パレの荷下ろし中	荷台の中からフォークリフトを誘導中、上部の木パレが落下した。	荷下ろし中は、フォークリフトや荷物の付近に極力近づかない。
13	リサイクルセンタープラント内	シャベルローダーで掻き上げ作業中	シャベルローダーでバックしていると急に人がシャベルローダー後方に侵入したため急ブレーキをかけ回避した。	近くに人がいたら、作業中であるためシャベルローダーに近づかない様に声をかけ伝える。
14	手選室 除袋機後	除袋機内のゴミを取り、降りる時	汗でズボンが全体に張り付き、膝が曲がらずコンベアから床に落ちた。	踏み台を用意した。
15	手選室	不適物除去作業中	遠くの不適物を取り除くのに手を伸ばしたら足元が滑り、バランスを崩し胸部を強打しそうになった。	作業中は十分に注意する。足元に滑りづらいマットを敷く。
16	手選別室	不燃ごみの分別作業中	不燃ごみ袋を手で破きながら分別中、使用済注射針が手袋を貫通し針が刺さりそうになった。	医療系廃棄物は不燃ごみに入れられない。袋を破く際は、十分に気を付ける。
17	手選別室	3クールが終了し、清掃・片付けを行っている時	小型家電・雑配線・刃物・電池・ライターを入れた籠を台車に載せ運搬中、ブラを入れた籠を前方より運搬していた。避けるため台車を右へ移動すると台車上の籠が崩れそうになった。	①荷崩れし、ぶつかると怪我をさせてしまう恐れがあるので、突っ込んできたら、こちら側が一旦停止する。②荷物の籠を積みすぎない。③時間をずらし移動する。
18	エコプラントで	選別作業中	混合廃棄物内にリチウムイオンバッテリーを発見した。	搬入前の注意喚起と搬入時の検査をしっかりと行う。
19	階段	昇っている時	上げた足が、階段に引っ掛かり躓きそうになった。	①確実に足を上げる。②急がない。③足元確認。
20	ピットフロア	掃き掃除	輪留め周辺を掃除中に最上部からゴミを掴んだクレーンから少量のゴミが落下し当たりそうになった。	ピットフロア内の作業時は、周辺、特に上に注意し、クレーンの落下点付近では作業を控える。
21	ピットフロア	トラックが荷下ろし中	トラックが荷下ろし作業中に荷下ろし扉が開き、誘導とぶつかりそうになった。	距離を開けて誘導する。
22	燃焼炉内	炉内灰出し中	プッシャーのロストルパイプの間を鍬で灰出し中に体勢が崩れてしまい腕を強打した。	作業する前に安全確認し、危険を予測する。
23	保管庫前	ゴミを噛んでいる時	硬いものを噛んでいる時、破片が飛び近くにいた人に当たりそうになった。	人が近くにいる時は噛まない。
24	燃焼炉コンベアトラフ階段	スカムが入った籠を持ち階段を上がっている時	階段ステップから足を踏み外し転倒しそうになった。	①階段昇降時、足元確認。②ステップの汚れを掃除する。

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項
25	投入機	引っ掛かったフレコンバックを取ろうとした時	フレコンの中にゴミが入っていた。取ろうとした際、体ごと持っていかれそうになった。	引っ掛からない長さで掴み投入する。
26	燃焼炉トラフ	トラフ内に溜まったスカムを出している時	燃焼炉コンベアが停止中にスカムを出していた。コンベアが動き出したことに気付かず鉄製のトンボがスクレーパに巻き込まれた。	燃焼炉コンベアが停止した直後にスカムを出すようにする。
27	投入機内	エアブロー中	エアーをかけて掃除中、粉が舞い投入機内の残り火に引火し炎が増した。	投入機内を確認してから作業する。
28	投入機	投入機後部ゴミ出し	後部のゴミが多く、ケーブルリールに足が引っ掛かる。投入機が前進端の位置でヒヤリとした。	ゴミ処理は一気に処理せず、数日に分けて処理する。
29	軟水装置	装置に並塩25kgを補充時	塩を補充する際、腰を痛めそうになった。	無理な体勢で作業をしない。
30	固形投入ピット前	受入物を片付けているとき	直投設備へ投入する廃棄物を間違えてピットへ入れてしまった。	作業前に片付けるものを確認して移動する
31	液移送場	エアポンプ点検時	エアポンプが動かなくなり交換するため、外そうと近づいた時に刺激臭が強く目に感じた。	保護メガネを着用していたが、さらにフェイスシールドの全面マスクを着用する
32	ピット前	ピットへ受入車両を受けていた時	エキスパンションの一部がめくれている所に躓き転びそうになった。	異常箇所はすぐ交換する。
33	受入口近くで	車両を受け入れようとした時	足元の鉄板が抜けており躓きそうになった。	作業前に周りを確認し異常があれば対応する
34	サンプル台前	サンプリングしようとした時	ヨウ素を測定しようとするサンプルの蓋を開けた時アミン臭を感じヒヤッとした。	普段の物はアミン臭は無かったので通常に開けてしまったが今後はドラフト内で作業を行う事とした。
35	ピット内部	内部清掃をしている時	清掃時床に沈殿物があり足元が滑り転倒しそうになった。	先にドライワイパーなどで沈殿物を取り除いてから作業する。
36	通勤路	帰宅しようと車を運転していた時	T字路を左折しようとした時、左側を横断中の人がいって慌ててブレーキを踏んだ。	暗所で歩行者が黒っぽいコートを着ていた為、気づきが少し遅れた。普段でもスピードを出しすぎず直ぐ止まれる様注意する。
37	階段昇降時	点検作業時	雨が降っており階段が濡れていて滑りそうになった。	滑り止めテープを貼った。
38	受入場	液移送作業時	足元にエアホースがあり、ホースが足に引っ掛かり転倒しそうになった。	ホースは使い終わったらすぐに片付ける又足元、手を良く見て作業をする。
39	廃液受入場	外観点検時	排気ファンのダクト部に穴があいており、外気を吸っていた。	今後も点検時に良く見て確認を行う。

「ヒヤリ・ハット」  
事例をお寄せいただき、  
ありがとうございました。

